

評価会議（令和元年度期末）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

評価項目		A委員	B委員	C委員	
支援の内容および効果等	協議会の取組（イメージ） 自律的運営に向けた地域活動	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3	3	3
		(2)「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3	3	3
		(3)「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3	3	3
	事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	3	2
		(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	3	3
		(2-2)フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3	2	3
		(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	—	—	—
策（取組） 今年度の重点支援	区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3	3	3	

（※）事業者等において、取組の提案等の記載がなかった項目については、委員評価の対象外のため「—」となっています。

主な意見等

- ・地域課題のとらえ方はほぼ例年通りだが、地活協事業の見直しとどう連動するのか不明。
- ・「若手も参加したくなる地域活動」の成果分析をして欲しい。
- ・大阪安まちアーカイブを14地域に整理した事は良い成果と思う。
- ・住道矢田の「まちづくり研究会」の役割・機能等をより詳しく説明されるべき。
- ・役員の高齢化と新たな担い手の発掘は人材発掘という単体課題として捕らえる段階は過ぎていないのではないのでしょうか。事業と対応して解決すべきでは？

- ・これからどういう新たな事業を起こすべきか、という視点が欲しい。
- ・北・中部について、実質、どんな支援が行われたのか、資料からは読み取れなかった。地域カルテは住民に開示されているのだろうか？
- ・今川地域での取り組みは評価できるが、一度きりでは効果は限定的。さらに記録に残し、他地域にも情報提供していただきたい。
- ・会長交代の地域へのフォローは評価できる。事業の棚卸について、意義やノウハウをまとめて、各地域に広めていただきたい。
- ・防犯情報は地域住民にとって関心が高いので、地域への情報提供を急いでいただきたい。そこから、まちの危険個所の点検や改善の運動が進めばいいな、と願う。
- ・お1人でやられているので仕方ないと思うが、報告事例地域に偏り(同じ地域の取組だけ)がある。ノウハウをチラシや冊子にまとめ、ほかの協議会にも広がるよう努めていただきたい。
- ・一地域での取り組みが、ほかにも広がるよう(お一人しかいないので巡回するのは難しいと思うが)記録や冊子を作成し、講習会を開くなどの工夫を行っていただきたい。
- ・状況の把握はできていると思いたいが、北・中部についてどんな課題があるのか、提出資料からはよく分からない。
- ・事業者が「区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策」のトップに、地活協の認知度アップをあげておられるが、区としてそれでいいのか？活動を周知すれば、担い手が増えるという単純なものではないと思うが…。
- ・センターを持たない体制なので、好事例を全区に広める努力は、区行政としても行っていただきたい。
- ・まちづくりセミナー等の開催による若手の参加で終わるのではなく、地域の課題に真剣に取り組む、継続して地域活動に中心的に参加する人材を確保するにはどうしたらいいか？をしっかりと考えて頂きたい。ゴールの設定、ゴールまでの道のり(ストーリー)を明確にプランニングした上で、支援を実施して頂きたい。

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。